

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2018. vol. **17**  
*Take Free*

# ハチクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

## 春待つマツカワ



09 酒と器と料理と 10 八幡平に生きる人 12 八幡平再発見  
13 松川温泉から足を延ばして 14 ハチクラ通信 16 ビッキーと行く八幡平



# 春待つマツカワ

今日も、  
峡雲荘・松川荘・  
松楓荘の3軒  
湯巡りですか？

八幡平温泉郷から、雪が残る坂道を力強く登る  
ボンネットバスに揺られて松川温泉へ。

街なかの雪が解け、春の気配が感じられても、  
この地はまだ雪の中。

松川温泉といえば、白濁の湯が自慢だが、  
それ以外の楽しみもいっぱい。

八幡平温泉郷（八幡平マウンテンホテル）と  
松川温泉まで1日3往復する、ボンネットバ  
ス。1968年（昭和43）製の四輪駆動車で、雪  
が多い季節のみ運行される。

撮影協力 / 岩手県北バス







愛猫のモモ。母親のクロとともに看板猫として働いている。



巨岩がある内風呂。

## 松楓荘

- 八幡平市松尾寄木1-41
- TEL 0195-78-2245
- 日帰り入浴時間／8:00～20:00
- 日帰り入浴料(税込)／  
大人500円、子ども(5歳～小学生)250円
- ※コーヒーは1杯250円(税別)

ねこが  
いる宿で  
コーヒー  
時間

主人が淹れる  
コーヒーでのんびり  
「標高が高いから上の漏斗からビーカーへと湯が落ちてくるのに時間がかかるんですよ」と、主人の高橋晟さん。その足元には2代目看板猫の黒猫親子がまったり。ここだけ周囲との時間の流れが異なり、ゆっくりと感じられる。

コーヒーと水をサイフォンにセットし、できあがりを待つ。室内に馥郁とした香りが漂ってくる。



野趣あふれる露天風呂でゆっくりと。



身長272センチ  
体重はヒ・ミ・ツ♥

## 峡雲荘

- 八幡平市松尾寄木松川温泉
- TEL 0195-78-2256
- 日帰り入浴時間／8:00～20:00
- 日帰り入浴料(税込)／  
大人500円、子ども(5歳～小学生)250円

麓から来るボンネットバスを終点「松川温泉」で出迎える大きな雪だるま。雪が多い2月に出現する。時期になると、入浴客から「雪だるまはまだですか?」と言われるため、「だから、忙しくてもつくってしまおうですよ」と主人の高橋俊彦さんと孝子さん。今年は3月中旬に役目を終えて消えてしまったので、お楽しみは来年に。

峡雲荘の冬の風物詩  
巨大雪だるま



# 松川温泉セレクション

松川温泉の魅力がぎゅっと詰まったおみやげ&グルメ。  
湯上がり後の楽しみにいかが。

## 峡雲荘

### トートバッグ

白色と黒色あり

小1,200円、大1,500円(税込)

キャンパス地で作られたトートバッグ。  
大は買い物袋に、小はバッグインバッグ  
にも使用でき、用途はさまざま。松川温  
泉への湯巡りにも使いたい。



## 松楓荘

### 松川温泉御湯花

6個・750円、8個1,000円(税別)

温泉の不溶性成分が析出・沈殿した湯花。  
主人が1個ずつ手づくりしているので、  
形が不ぞろいなのはご愛嬌。松川温泉の  
湯を自宅でもどうぞ。



※風呂釜の種類によっては使用できない場合があります。

## 松川荘

### 山菜天丼、ほろほろ丼

山菜天丼800円、ほろほろ丼850円(各税込)

甘からいたれがかかった「ほろほろ丼」  
とともに人気を二分する「山菜天丼」。八  
幡平市の山で採取した山菜と地元野菜を  
使った天ぷらが美味。



※提供時間は11:30~13:30(LO)



天候によって仕上がり約17分  
~20分かかる。

湯上がりまで  
約20分!

2月の露天風呂は、  
かまくらの中で入浴気分。



## 松川荘

- 八幡平市松尾寄木松川温泉
- TEL 0195-78-2255
- 日帰り入浴時間 / 7:00~19:00
- 日帰り入浴料(税込) / 大人500円、子ども200円
- ※生卵は1個50円(税込)

今日は上手にできたかな  
湯上がり後の温泉卵

売店で生卵を購入し、露天風呂へ。「松川荘」では、混浴露天風呂の前にある「たまごの館」に生卵を入れてから温泉入浴をしよう。湯を堪能しているうちに、たまごの館では、生卵が温泉卵へと変身中。  
「天候によって固まる時間が変わるのも楽しみのひとつですね」と女将の平栗カヨ子さん。自分好みの固さになるかは、運しだい?



# 酒と器と料理と

八幡平のつくり手たち

宮沢賢治の「稲作挿話」に「君が自分でかんがえた あの田もすっかり見て来たよ 陸羽一三二のはうね あれはずるぶん上手に行った」という一文がある。賢治が高く評価した水桶で醸した「陸羽132」は旨味の深い純米酒。燗で飲むとうまい。板粕の素揚げに塩を振った肴とともにゆっくりと味わいたい。

春分

株式会社高福組 ■ 八幡平市柏台1-1-1 ■ TEL 0195-78-2208



八幡平山頂付近に出現する八幡平ドラゴンアイ。  
見頃は5月下旬～6月上旬。

## 春を招く男たち

### 開通間近 アスピーテライン

岩手と秋田をつなぐ八幡平アスピーテライン。現在、4月中旬の開通に向けて除雪が行われている。今年、作業を担当しているのは、特定建設業「高福組」。除雪エリアは、御在所のゲートから県境までの約11キロで、毎日約12人が業務にあたっている。

開通すると、八幡平に本格的な春が訪れる。そして5月下旬には、八幡平ドラゴンアイが見頃となる。

昨年3月の除雪風景。バックホウで雪を崩して行き、除雪ドーザーとロータリー除雪車で路外へ雪を飛ばしていく。



### （株）わしの尾

「陸羽132」1800ml (2,570円・税込)  
板粕（酒粕）1kg (390円・税込)  
※販売は4月ごろまで  
八幡平市大更22-158 TEL 0195-76-3211

### tamari 窯

カップ (1,080円・税込)、皿 (1,944円・税込)  
※ソーサーは別売  
八幡平市平館8-126-2 TEL 090-5185-6723





# 八幡平の自然を 布に表す色の魔術師

株式会社地熱染色研究所

高橋一行さん

たかはし かずゆき

1973年(昭和48)、八幡平市(旧松尾町)生まれ。幼少時より母親の染色活動を見て育つ。1992年、地熱染色研究所に入社。ネイチャーフォトグラファー、アーティシャルフラワーアーティストとしても活動中。

初夏の八幡平に出現する「八幡平ドラゴンアイ」をイメージした日傘。手づくりのため、すべて1点ものだ。



国内初の地熱発電所「松川地熱発電所」から出る温泉の地熱蒸気を使い、布地を染色するのが「八幡平地熱蒸気染色」である。染色工程は、仕上がりの模様を予想して布を寄せて糸でくくることから始まる。絞った布は、調合した染液で着色され、地熱蒸気で満たされた釜で蒸される。文字にすると簡単だが、実際は難しい。布の絞りや染色の具合、その日の地熱蒸気の状態によって変わるからだ。

「だから、世界にひとつだけの作品となるのです」と話すのは、「地熱染色研究所」の地熱染色作家・高橋一行さん。母親の染色活動を見て育ち、自らも自然の力によって生まれる色に魅入られ、この世界に入った。地熱染色には15種類の染液が使われる。地熱蒸気で蒸すことで、色が化学変化するのを利用して、染液を組み合わせて多彩な色をつくり出していく。まるで色の魔術師だ。そして、布地に表現するのは、八幡平をとりまく自然風景である。特に山に咲く花が好きで、花の時期は毎週のように山に登るといふ。

それを表現したのが、この日、撮影のために妹の鈴木絵美さんが着用したドレスである。ピンクから水色、緑色へと変化するグラデーションに、早春に咲く小さな花の愛らしさを感じる。高橋さんは、「八幡平地熱蒸気染色は、幅広い可能性を持っている」という。布地の種類、大きさ、デザインによっても、いろいろな変化を見せるからだ。そのため、近年は世界からも注目されている。これからも、色の魔術師が地熱蒸気染色を通して、どのような八幡平を見せてくれるのか楽しみである。

複雑な文様になるほど、絞りが複雑になっていく。絞り具合や染料の染み込み具合で仕上がりが変わる。



八幡平の自然を布に表現。妹の絵美さんが着用したドレスは、岩手山のユキワリコザクラをイメージしている。



絹や綿、麻、レーヨンを中心にさまざまな布地を使用した地熱蒸気染色。ドレスやワイシャツなどに仕立てるときは、デザインから行う。

八幡平に生きる人

八幡平には、いろんな人がいて、いろんなことを考えている。共通するのは、「じいちゃん、いいまちだよな。」暮らしでこそわかる、八幡平の魅力とは――。





# 松川温泉から 足を延ばして

松川温泉から樹海ラインを上って、藤七温泉へ。  
麓へ降りてグルメ&ショッピング。

CACE  
3



## 藤七温泉 彩雲荘

海拔1400メートルの高所にある温泉。広大な谷間に露天風呂が点在し、天気によっては雲上の露天風呂を楽しめる。近くにはトレッキングコースもあり。



- 八幡平市松尾寄木北の又
- TEL 090-1495-0950 (衛星電話)
- 営業期間／4月下旬～10月下旬(冬季休業)
- 日帰り入浴時間／8:00～18:00
- 日帰り入浴料／大人600円、小学生以下300円(税込)

CACE  
4



## レストラン こかげ

「こかげ」にて25年以上も愛されている、ピリ辛仕立ての「オムライスAセット(750円・税込)」。ふんわりと炒めたケチャップライスもおいしい。



- 八幡平市寄木12-1-16
- TEL 0195-78-2126
- 営業時間／11:00～20:00(LO)
- 定休日／火曜

CACE  
1



## 松尾八幡平ビジターセンター

八幡平・岩手山の情報発信拠点として、動植物の標本などを展示。豊かな自然を映した映像ハイビジョンは一見の価値あり。散策前にお立ち寄りを。



- 八幡平市柏台1-28
- TEL 0195-78-3500
- 開館時間／9:00～17:00
- 休館日／年末年始

CACE  
2



## 物産館あすびーて

秋にはリンゴやキノコでいっぱいになる「物産館あすびーて」。今時期は、特産のほうれん草をはじめ、ちぢみ小松菜、水菜、原木しいたけ、安比舞茸などがそろう。



- 八幡平市柏台1-28
- 松尾八幡平ビジターセンター内
- TEL 0195-78-3480
- 営業時間／8:30～16:00  
(八幡平アスビーテ開通時期は17:00まで)
- 定休日／水曜(八幡平アスビーテ開通時期は無休)

r e d i s c o v e r y

八幡平  
再発見

第4回

h a c h i m a n t a i



八幡平温泉郷と松川温泉をつなぐ県道212号から見る岩手山(標高2038メートル)。山頂から屏風尾根、赤倉岳が見える。

## 巖鷲山

山を開いたノギノ王子  
「岩手山と鷲」の伝説

松川温泉からボンネットバスで下ってくる途中、木々の間から岩手山を見ることが出来る。盛岡市内から見た端正な姿とは異なる荒々しい山容に、噴火を繰り返してきた山であることがわかる。岩手山には、姫神山との夫婦の別れなど、いくつかの伝説がある。そのひとつに、岩手山の別名「巖鷲山」に関係するものがある。

伝承によれば、ある男が、八戸地方の村で作物を荒らし、子どもをさらう大鷲を追って、岩手山まで来たところ、大鷲が神の姿となり、「お前にノギノ王子という名前を与える。この山を開いて祭りごとをせよ」と宣託した。このことから、岩手山を「巖鷲山」と呼ぶようになったというものだ。

ちなみに、岩手山に登山したとき、奥宮で唱える祝詞に「南無岩手大権現シメノゴウ御峯ハ三十六童子御宮本社ハ三社ノ権現田村大明神ノギノ王子一時ニ御本尊ワラハバキノ一時礼拝」という言葉がある。



## ハチクラ vol.17 読者アンケート

### 問1

「ハチクラ」をどこで入手しましたか？

### 問2

本誌を入手した動機は何ですか？（複数回答可）

- 1 表紙に惹かれたから
- 2 内容がおもしろそうだから
- 3 八幡平市の観光に興味があったから
- 4 地元の情報を知りたかったから
- 5 無料だったから

### 問3

今号の記事でおもしろかったものを挙げてください  
（複数回答可）

- 1 特集「春待つ、マツカワ」
- 2 酒と器と料理と
- 3 八幡平に生きる人
- 4 八幡平再発見！
- 5 松川温泉から足を延ばして
- 6 ハチクラ通信（読者の声・プレゼント）
- 7 ピッキーと行く八幡平

### 問4

「ハチクラ」へのご感想・ご意見をお書きください

今号の「ハチクラ」はいかがでしたか？

今後、充実した内容にするため、  
皆さまの声をお聞かせください。

## プレゼント

本ページのアンケートに回答してく  
ださった方に抽選でプレゼント！  
ふるって応募してください。

1

わしの尾  
「陸羽 132」



2

地熱染色研究所  
八幡平地熱蒸気染色  
「巾着」



2名様

次号のハチクラ vol.18は  
平成30年6月25日発行予定

八幡平をもっと  
楽しむためのフリーマガジン **ハチクラ**

2018. Vol.17 平成30年3月25日発行

企画・発行・問い合わせ先 八幡平市商工会  
岩手県八幡平市大更35-63-85 TEL 0195-76-2040  
<http://www.shokokai.com/hachimantai/>

印刷所 川口印刷工業株式会社

■本誌に掲載している情報は、平成30年3月10日現在の  
ものです。発行後のデータ等が変更になっている場  
合があります。あらかじめご了承ください。  
■本誌掲載の記事・写真等の無断掲載を禁止します。

## プレゼント & アンケートの送り先

官製はがきに以下のことを記入し、ご応募ください。  
FAXでも応募OK！

- ① ご希望のプレゼント番号
- ② アンケートの回答
- ③ 住所・氏名・年齢・電話番号

### ■ 送り先

〒028-7111 岩手県八幡平市大更35-63-85  
八幡平市商工会「ハチクラ」係  
FAX 0195-76-2145

### ■ 応募締切

平成30年5月18日（金）当日消印有効

当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。  
今回ご記入いただいた個人情報は、八幡平市商工会の個人情報保護  
方針に基づき、責任をもって管理します。本人の同意を得ずに第三  
者に開示することはありません。

## 読者の声

ハチクラ16号に寄せられた  
読者からのコメントを紹介。

●16号の表紙の立花栄子さんの笑顔が  
すてきで、東京へ戻る新幹線の中で一  
気に読みました。（東京都M・S）

●果実酒の宿にぜひ行きたい！ 夫  
はチーズケーキ大好き、私は果実酒  
大好き。去年の秋に訪ねた八幡平が  
よかったので、また季節をかねて行  
きたいと思います。（東京都T・K）

●「ステキ」ではなく、実際に生活  
する上で必要なことも調べあげての、  
松橋さんの移住生活に「あっぱれ」  
と思いました。（盛岡市N・M）

●毎回の一番は「八幡平再発見」。八幡  
平の土偶はややスマートですね。60  
年ぶりの再会とは大きなロマンです。  
（盛岡市A・S）

●八幡平市に住んで10年ですが、「ハ  
チクラ」と出会い、これからの楽し  
みができ、八幡平市が今まで以上に  
好きになりました。（八幡平市M・E）

●八幡平でアロマを作っていること  
は知りませんでした。地元のものを  
使って還元したいという想いに心打  
たれました。（匿名希望）

## 会員募集中！

「ハチクラFANCLUB」は公式ファン  
クラブとして、ハチクラの活動を応援す  
ることを目的にした、ハチクラファン  
のためにメンバーを募集します。ハチク  
ラの活動を応援しようという気持ちを  
持つ方ならどなたでも加入できます。

### ■ 入会費・年会費は無料

### ■ 特典

- ① ハチクラの最新号やバックナンバーをお手元  
にお届けします。
- ② ハチクラツアーなどのイベントをご案内します。
- ③ ハチクラグッズの企画がある場合に先行予約  
などを受け付けます。

### ■ 入会方法

希望の方は、メールでのみ受け付けます。  
件名に「ハチクラメンバー希望」、メール本文に  
住所、氏名、年齢を記入し、送信してください。  
確認後、2～3日中にメールを返信します。

送信先 [hachikurafan8@gmail.com](mailto:hachikurafan8@gmail.com)

## back number

## バックナンバーのご案内

「ハチクラ」バックナンバーのお求めは……  
下記までご連絡ください。  
送料のご負担をお願いいたします。

### 連絡先

八幡平市商工会  
TEL 0195-76-2040  
（受付時間／平日9:00～17:00）



## hachikura web

## 「ハチクラWeb」公開中！

八幡平の暮らし、食などの情報を発信する「ハチ  
クラweb」を公開中！ フリーマガジン「ハチク  
ラ」の取材中のこぼれ話も掲載しています。あわ  
せてご覧ください。

<https://www.facebook.com/hachikuraweb/>

「ハチクラ」は、  
八幡平市商工会ホームページでもご覧いただけます。



# ビッキーと行く八幡平

## 「雪解けの松川で石ころ遊び」

撮影地／松川渓谷



撮影

三浦 学

WILDGRAPE FARM・八幡平山ぶどう農園代表

春めいてきた八幡平。雪が解けてやっと河原に下りられるようになりました。ビッキーたちは、さっそく松川の玄武岩で石ころ遊びを。しかしね、そんなに大きな石は無理だよ！腰を痛めちゃうって！って、ビッキーの腰ってどこだ??



●ビッキーとは、八幡平市の非公認マスコットキャラクター。その正体は、樹上で暮らす森の住人・モリアオガエル。「大湯沼とモリアオガエル」は国指定の天然記念物です。

ハチワラ

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2018. Vol.17

平成30年3月25日発行

発行：八幡平市商工会

Take Free